

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 2 対蹠点	地球は球体であるため、ある地点から地球の中心を通して反対側へと突き抜けた地点が存在します。これを対蹠点と呼びます。対蹠点では、緯度は北緯と南緯が逆になり、経度は180度の差が生じます。季節や昼夜も、元の地点とは正反対になります。
問2	答え 1 緯度は赤道を0度として南北にそれぞれ90度、経度は本初子午線を0度として東西にそれぞれ180度で表す。	緯度は地球を南北に分ける基準である赤道を0度とし、北極点および南極点をそれぞれ90度として表します。これにより、赤道より北を北半球、南を南半球と区分します。一方、経度はイギリスの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度とし、そこから東回りに東経180度、西回りに西経180度までを定めています。この緯線と経線の網目を利用することで、地球上のあらゆる地点の絶対的な位置を特定することが可能になります。
問3	答え 4 大陸と海洋の境界であり、地形の起伏や海面との接点によって決まる自然の境界である性質	海岸線は大陸と海洋の境界を指し、自然の地形によって形作られるため、複雑な曲線となります。これに対し、アフリカ大陸の地図に見られる直線的な国境の多くは、緯線や経線を利用して引かれた「人為的境界」であり、自然の地形に基づいた海岸線とは成立の背景が異なります。
問4	答え 3 2万5千分の1の地形図では、主曲線は10mごとに引かれ、その間隔が狭いほど傾斜が急であることを示す。	等高線には、地図の縮尺に応じて一定の標高ごとに引かれる「主曲線」がある。2万5千分の1の地形図では10mごと、5万分の1の地形図では20mごとに主曲線が引かれている。等高線の原則として、線と線の間隔が狭いほど標高の変化が激しいため傾斜が急であり、間隔が広いほど傾斜が緩やかであることを示す。標高の高さや低さは等高線に記された数値や周囲の地形から判断するものであり、線の密度だけで標高の高低が決まるわけではない。
問5	答え 3 ヨーロッパ大陸・アフリカ大陸と、南北アメリカ大陸の間に位置する海洋である。	大西洋は、東側にヨーロッパとアフリカ、西側に北アメリカと南アメリカが位置する大陸間の水域です。選択肢にある「世界最大の面積」は太平洋、「アフリカ・アジア・オセアニアに囲まれている」のはインド洋、「最も北に位置する」のは北極海の説明にあたります。大西洋は古くからこれらの大陸を結ぶ交通・貿易の重要な役割を担ってきました。
問6	答え 2 アジア大陸、オーストラリア大陸、南北アメリカ大陸の四つの大陸に囲まれている。	太平洋は世界最大の海洋であり、アジア大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸という四つの主要な大陸に囲まれています。他の選択肢にある「南北アメリカ大陸とヨーロッパ・アフリカ大陸に囲まれている」のは大西洋、「アジアの南側でアフリカとオーストラリアに面している」のはインド洋の特徴です。
問7	答え 3 8cm	地図上の長さを求めるには、実際の距離を縮尺の分母で割る計算を行います。実際の距離2kmは200,000cmです。これを2万5千分の1の縮尺にあてはめ、200,000を25,000で割ると8となるため、地図上では8cmとして描かれます。4cmが1kmに相当するという関係性を基準にすると、2kmはその2倍の8cmであると容易に導き出すことも可能です。
問8	答え 4 石炭の生産割合は中国が世界一であり、原油の生産割合はロシアやサウジアラビアなどで高くなっている。	世界のエネルギー資源生産において、石炭はアジア、特に中国への集中が顕著であり、世界の生産割合の約半分を中国一国で占めています。一方で、原油はロシアやサウジアラビア、アメリカ合衆国といった国々が高いシェアを分け合っており、複数の主要生産国が存在する構造となっています。各資源の生産分布を知るとは、世界の貿易やエネルギー問題を理解する上で重要です。
問9	答え 1 西	日本の地形図では、方位記号による特段の指示がない限り、図の上方が北、下方が南、右側が東、左側が西として作成されています。したがって、基準となる松本城の地図記号から見て左側に位置する消防署の方位は、西であると判定できます。
問10	答え 3 高度な工業化が進み、交通網の整備や便利な電化生活を維持するために多量のエネルギーを投入しているから。	先進国では、複雑な産業構造の維持や、自動車・航空機などによる移動、空調設備といった高度な社会サービスを提供するために膨大なエネルギーを消費します。一人あたりのGDPが高いということは、それだけ付加価値の高い経済活動を行っていることを意味しており、その活動の裏付けとして多量のエネルギー消費が必要となるのです。
問11	答え 4 南緯30度、西経15度	対蹠点を求める場合、緯度は「北」と「南」を入れ替えた同じ度数になります。したがって、北緯30度の対蹠点は南緯30度です。経度は「180度から元の経度を引いた数値」を求め、かつ「東」と「西」を入れ替えます。この問題では180度－165度＝15度となるため、西経15度が導き出されます。
問12	答え 4 参加する国や地域が協力して、貿易の障壁を低くし、自由な投資や経済連携を強めることで地域の繁栄を図っている。	APECは、世界のGDPの約6割を占める広大な地域の経済協力を目的としています。加盟国間での対話を通じて、貿易の自由化や投資の円滑化、さらに技術協力などを進めることで、アジア太平洋全体の経済格差の是正と成長を促す役割を担っています。特定の国を排除するのではなく、開かれた協力体制をとっている点が重要です。
問13	答え 1 南アメリカ大陸	西経60度・南緯45度付近は、アルゼンチンなどがある南アメリカ大陸の南部に位置します。この大陸は赤道付近から高緯度地域まで南北に長く、西側にはアンデス山脈が連なっているのが特徴です。アフリカ大陸は東経・西経の両方にまたがりますが、西経60度は通りません。